

広域

身近な生活圏

	実施レベル 早く実現できそうなもの	計画、構想レベル 実現までに時間を要するもの	将来イメージ 夢・アイデアレベルのもの
圏域外、海外との交流		下関北九州道路 豊予海峡連絡道路 四国新幹線(大阪~大分)	★陸路でのアジアンハイウェイ 沖縄と九州をつなぐ陸路 大分と本州をつなぐ交通
空港の拠点性向上、空路の充実	既存空港の拡張(福岡、那覇他)	既存空港の拡張(北九州) UTM(ドローン運行管理システム)による空の交通網 熊本空港アクセス鉄道 ★大分空港の宇宙港化	佐賀空港のハブ空港化(国際線) 熊本空港のアクセス拠点化 九州全域の航空需要創出(増便、運賃設定) 鹿児島空港アクセス鉄道 空港の多数増設
海上アクセス強化	九州の主要な沿海都市を経由する航路(観光船等)		ロ之津港から長崎港と熊本港を結ぶ航路(南島原の活性化) 【沖縄】読谷から名護・本部までの航路の開設
新幹線・高速鉄道の整備	九州新幹線(西九州ルート)	東九州新幹線(福岡~大分~宮崎~鹿児島) 九州横断新幹線(大分~熊本) 【沖縄】高速鉄道(那覇~名護)	九州新幹線(佐賀空港経由/博多~武雄最短ルート/唐津経由) 九州横断新幹線(福岡~大分/熊本~宮崎など)
圏域内の高速道路・高規格道路網の整備	高規格幹線道路(九州横断自動車道延岡線、南九州西回り自動車道、西九州自動車道、東九州自動車道) 有明海沿岸道路 島原道路 西彼杵道路 【沖縄】中部東道路、南部東道路、那覇インターアクセス道路、名護東道路延伸(本部方面) 高規格道路の4車線化	島原天草長島連絡道路 【沖縄】伊江島⇄本部町に架橋	九州の中央を縦断する道路(宮崎県の各都市へアクセス向上) 北九州~筑豊~鳥栖・久留米を結ぶ道路 九州自動車道(福岡~熊本)の6車線整備 【沖縄】高速道路を沖縄本島の北端まで延伸
公共交通の維持、利便性向上	バスやレンタサイクルなど自家用車以外の交通手段の普及 鉄道ローカル線の機能確保	公共交通機関における自動運転の活用 バスが定時運行できる仕組みの普及拡大(バス専用信号、バス専用レーンなど)	車社会から公共交通、海上交通への転換
防災インフラ・防災体制の整備	社会福祉協議会等と各地の青年会議所の防災協定締結の推進 大規模災害時、海上からの支援物資輸送などを円滑に行うための体制構築	窪地空間または地下貯水空間の整備	住宅の居住空間を最低で2階以上とする(水害対策)
観光・交流連携	★歴史的な街並みを保全し、観光客を誘致 各地に簡易の宿泊所を増やし、交流人口を増大 高速道路のサービスエリア・パーキングエリアの増設 【沖縄】リゾートホテルや大型商業施設・商店街を一直線に結ぶバス路線		観光地周辺や九州全域で食料自給など完結するサイクルを生み出し、まちの持続可能性向上
コンパクトなまちづくり	市街地部の再開発、既存ストックの活用	都市部に人口を集約 【沖縄】老人福祉施設の立地を集約し、施設共通の送迎バスを運行	人口減少により無人化した土地の有効活用(例:企業等の技術研究・開発用地)
都市の交通混雑の解消	カーシェア拠点の拡大 交差点や信号の改良(AI信号機等) 市街地中心部への流入制限(駐車場再編、パークアンドライドなど)	市街地中心部への流入制限(ロードプライシングなど)	主要都市内の道路の地中化 福岡市に新たな交通手段の整備 博多湾内に橋またはトンネル整備(糸島⇄福岡市東区)
カーボンニュートラルの促進	北九州響灘洋上ウインドファームの整備 EV(電気自動車)の充電インフラの整備 自転車や小型モビリティのシェアリングサービスの普及 高速道路における環境配慮型法面の整備促進	地熱発電・水力発電の開発を進め、九州の消費電力の5割を再生可能エネルギー化 【沖縄】那覇市内へのLRT導入(国際通りなど) 都市の中に自然の機能やサイクルを人工的に生成・管理	
新技術の開発・活用		走行しながら充電できる道路(EV(電気自動車)向け) 旅客と貨物を同時に輸送でき、かつ環境に配慮した船舶	在来線の直上に新幹線を通す(用地取得費用を抑制) 山々に乱立する電波塔の埋設や撤去(代替技術への転換)

時間軸
構想の熟度

現在
実施中

近い将来実現
具体性あり

数十年後実現
構想段階

★青字は九州の特性をアピールできるもの

※この資料は地域の若手(青年会議所、大学生等)から集めた意見をまとめたものであり、行政計画と整合を図ったものではありません。